



marie claire

marieclairejapon.com

31st July, 2025
No.199

New
Heroine

さあ、新しい自分へ

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.199

古

都京都での海外ラグジュアリーブランドのイベントが今年はことのほか多いように感じます。京都はイタリアのフィレンツェと姉妹都市の関係を結んでいますが、フィレンツェは言わずと知れたルネサンス発祥の地、メディチ家の庇護のもと多くの芸術家が誕生し、活躍した街です。京都もそれに劣らず8世紀から日本の文化の中心として、多くの芸術家たちをひきつけてきました。

そんな京都で8月10日(日曜日)まで西陣織の老舗「HOSOO」の「HOSOO GALLERY」で展示会が開かれています。開催に先駆け内覧会に行ってきました。

この展示会は4月7日から13日まで開催された「ミラノ・デザイン・ウィーク2025」で発表された新作のテキスタイルコレクション「Hemispheres Collection」を日本で初めてお見せするというものです。

「HOSOO」は建築、インテリア、ファッションなどの分野でのテキスタイルの展開を積極的に進めていますが、「ミラノ・デザイン・ウィーク2025」でも現地ミラノのデザインスタジオ「DIMORESTUDIO」とコラボレーションし、新作のテキスタイルを発表しました。

「The Hemispheres」(半球の意)と題されたこの展示会では、細尾家に受け継がれてきた約2万点もの未着彩の帯図案(「アタリ」と呼ばれる)に「DIMORESTUDIO」が独自の解釈で色彩感覚を加えました。日本の伝統的な文様(波、葉紋、菱紋など)に、ヨーロッパ、イタリアの色彩感覚がプラスされ、淡いグレーージュやセピア、くすんだブルーやグリーンなど、新たな視点で表現されたテキスタイルが伝統美を見事に現代によりみえさせています。まさに伝統的な日本の職人技に革新的な技術や感性が加わり、掛け合わされ、現代的で洗練された印象のテキスタイルの新作が誕生したといえるでしょう。

西陣とは京都御所の西側5km圏内を指すのですが、西陣の名前の起源は、応仁の乱の時に西軍の陣が御所の西側にあったところから始まりました。そのエリアで、西陣織は1200年前、先染めの織物として誕生しました。公家や将軍家、裕福な商人など、お金に糸目をつけない客の要請に応じ、ひたすら「美」を追求し続けてきました。



新作テキスタイルによる平面作品 《Nami Levitas》(Skyward) 《Insignia》



新作屏風 《The Atlas of Hemispheres》と新作テキスタイルの平面作品

「HOSOO」はそんな流れの中で1688年に創業。以降、上流階級や富裕な町人から熱い支持をうけ、織物を作り続けてきました。

時とともに西陣織の需要は低下していきますが、約150年前、フランスのリヨ

ンで発明されたジャカードの技術を西陣織は取り入れ、その生産に応用しました。このような転換で、生産性も認知度も高まり、新たな時代が到来したのです。

また西陣の特徴として忘れてはならないことは、「協業」ということです。西陣を織り上げるための20以上の工程には、それぞれの工程ごとに1人の熟練した職人が付き、その技術が合わさって作られてきたのです。それは1社の内部で行われるのではなく、西陣という織物製作のシステムの中で行われてきたのです。自分たちの職業別組合で仕事を請け負い、それぞれが互いの仕事をリスペクトしながら対等に作業していく——こうした体制が、時代にに合わせて進化していくための強力なベースになっていたのです。

そんな西陣でもグローバルに躍進しているのが「HOSOO」です。先代の時代から海外に目を向け試行錯誤を重ねてきたのです。パリで展示会に出展した西陣織を目にした建築家ピーター・マリノ氏から、西陣の技術で「ディオール」の店の内装に使う、コンテンポラリーなテキスタイルを作れないかとの打診を受けたのです。それまでの織機では32cmという幅の反物しかできなかったのですが、周囲の反対を押し切り、1年がかりで150cm幅の織機を完成させたのです。

これを機に「HOSOO」は、一気にテキスタイル事業を拡大させていきます。以降「HOSOO」は、「シャネル」や「ルイ・ヴィトン」といった世界のラグジュアリーブランドの店舗や商品、一流ホテルの内装にも使われ、世界的に認知されていったのです。

12代目の当主、細尾真孝氏は京都を拠点とする伝統工芸の若き担い手たちと幅広いジャンルのコラボレーションにも取り組んでいます。他分野との結びつきを広げることで、伝統工芸のさらなる可能性を探っているのです。

まだまだ日本の伝統工芸は世界では知られていません。言い換えれば、これは今後いくらかでもチャンスがあるということです。細尾真孝氏は次のように語ります。「豊かな暮らしに「美」はなくてはならないものだと思います。我々は美の力を信じ、日本が誇る工芸の世界を、世界に伝えたいと思います」と。

2025年7月31日

田居克人

Katsuto Tai, marie claire 編集長

marieclairejapon.com



Welcome to Our Site!

Contents

- 5 Welcome to marie claire /
- 6 Cover Story: Sunday Rose Kidman Urban /
- 8 marie claire international /
- 9 Style Picks: Into Fall /
- 10 Sports: Sport in Life /
- 12 Sports: Sport Mix /
- 13 Sports: Swing Chic /
- 14 Sports: Daily UV Protection /
- 15 marie claire fragrance /
- 16 DAMIANI /
- 19 OMEGA /
- 21 LOUIS VUITTON /
- 22 Baccarat /
- 23 News /
- 24 CATALONIA /
- 28 marie claire sport /
- 29 marie claire open golf 2025 /
- 30 RIMOWA /
- 31 News, shop list

COVER
photo: ©OMEGA
watch: OMEGA

marie claire

2025年7月31日発行 第14巻 第7号(通巻199号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

デジタル編集長 Editor in Chief Digital:
宮智 泉 Izumi Miyachi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:
大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:
高波麻奈美 Manami Takanami
マルチンバヤル ホスツェツェグ
Malchimbayar Khostsetseg
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-3216-8815
THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive Director:
Jean de Boisdeffre
International Deputy & Finance Director:
Felix Droissart
International Brand Director:
Nicia Rodwell
Chief Content Officer:
Galia Loupan
Chief Digital Officer:
David Jullien
International Fashion & Beauty Chief Editor:
Florence Deladrière
Senior International Brand Manager:
Céline Hananel
International Editorial Coordinator:
Marie Bazin
Global Partnerships / Media solutions:
Magali Riboud (Agence Riboud)
Foreign right Commercial:
Thibaud le Paih
Licensing Manager:
Stephanie Ertzbischoff
Iconographer- Photo library:
Isabelle Teboul

©MARIE CLAIRE ALBUM 2025
©THE YOMIURI SHIMBUN 2025
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本紙に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。

「オメガ」の新キャンペーンでフレッシュに登場 ニコール・キッドマンの娘、 サンデー・ローズ・キッドマン・アーバン

Sunday Rose Kidman Urban

今年7月に17歳になったばかりのサンデー・ローズ・キッドマン・アーバン。その名の通り、俳優のニコール・キッドマンを母に、歌手のキース・アーバンを父に持つ、ショービズ界のサラブレッドだ。サンデーがファーストステップとして選んだのはファッションモデル。母親譲りの長身を生かし、スターモデルへの道を駆け上がる。そんなサンデーがスイス発の時計ブランド「オメガ」の最新作のキャンペーンアンバサダーの一人に就任。モデル、サンデー・ローズ・キッドマン・アーバンの新たな章がここから始まる。

photos: ©OMEGA
text: Tomoko Kawakami

2008年7月7日に誕生したサンデー・ローズ・キッドマン・アーバン。彼女の母、ニコール・キッドマンはトム・クルーズとの破局の後、カントリーシンガー・ソングライターのキースと出会い、待望の子供を授かった。サンデーの名前の由来についてニコールは「離婚後、日曜日が本当に孤独だったわ。でもキース・アーバンと出会ってからは変わったの。何もせずただ一緒にいられる日々が愛おしくなった。だから、娘も、そんな穏やかな日々が送れるように、という願いを込めた名前を付けてあげたかった」と振り返る。

そんな母親の深い愛に包まれて、すくすくと育ったサンデーも今年で17歳。これまで、母のニコールが出演しているテレビドラマ「ビッグ・リトル・ライズ」や「フレイザー家の秘密」に妹のフェイス・マーガレットとエキストラで出演するなど、セレブキッズらしい一面を見せてきた。2024年4月には、両親と妹とともに「第49回AFLライフ・アチーブメント・アワード・ガラ」に出席し、レッドカーペットに登場。そして同年10月には、パリで開催された「ミュウミュウ」のショーでオープニングを飾り、ついにモデルとして堂々のウォーキングを披露して一躍注目を集めた。

「ずっとモデルになりたいと思っていたから、このオファーがきたときは本当にうれしかったわ」とバックステージでのインタビューで答えたサンデー。今年3月には再び「ミュウミュウ」のショーに登場し、ファッション誌『W』や『POP』でもモデルとして活躍の幅を広げている。

そして彼女の次なるステージは、母ニコールが2005年からアンバサダーを務めている「オメガ」のキャンペーン。今回、サンデーは新作「シーマスター アクアテラ 30MM」のキャンペーンアンバサダーの一人に抜擢された。

「『オメガ』とのご縁に心から感謝しています。ブランドが持つ時代を超えた価値はもちろん素晴らしいのですが、スタッフの皆さんの親切で温かい姿勢に深く感動しています」と語るサンデー。そして、自らがアンバサダーを務めるコレクションの最新作については「私の生活において、腕時計は単に時間を知らせるためのアイテムではなく、スタイリングする上で欠かせないアクセサリーですね。『シーマスター アクアテラ 30MM』は軽くて繊細なところがとても気に入っています。そして身につけることで、ちょっと自信が持てるんです。時計の形状と手首へのフィット感が理由だと思います。着用する場面を選ばず、カジュアルにもフォーマルな服装にも合わせることができます。そしてディテールにこだわったスタイルも気に入っています」。

新時代のアイコンとして、軽やかにその一歩を踏み出したサンデー。その輝きは、確実に世界の視線を引き寄せている。

2008年生まれ、17歳、アメリカ出身。俳優のニコール・キッドマン、歌手のキース・アーバンを両親に持つ。2024年4月、家族とともにレッドカーペットデビューを果たし、同年10月に「ミュウミュウ」のランウェイショーで本格的にモデルデビュー。2025年「オメガ」の新作のキャンペーンアンバサダーの一人に選ばれる。



〈上〉才能ある6人の女性たちとともに「オメガ」のキャンペーンに登場するサンデー。撮影のバックステージでのリラックスした表情も魅力
〈下〉母のニコール（左）と一緒に「オメガ」のイベントにも登場。手足の長さ、クールな顔つき、母親の遺伝子を見事に受け継いでいる



サンデー・ローズ・キッドマン・アーバンの手元を引き立てる、「オメガ」の新作「シーマスター アクアテラ 30MM」のラベンダーダイヤル。クールなレザージャケットに洗練された彩りを添えて。時計「シーマスター アクアテラ 30MM」[ステンレススチール、ケース径30mm、自動巻き]¥1,001,000 ピアス[ホワイトゴールド×ダイヤモンド]¥492,800(ともにオメガ) ジャケット(私物)

現在、世界30カ国で出版、配信されている『マリ・クレール』。その最新記事から気になる話題を厳選してお届け。
今月はフランス版で紹介された、注目のアートブライズを受賞アーティストに焦点を当てる。

photos: Vincent Ferrané, text: Galia Loupan, translation: Tomoko Kawakami

南仏アルルで新境地に挑むカロリーヌ・コルバッソン

「ゲラン」と世界的に著名な韓国人アーティスト、李禹煥(リ・ウファン)によって設立された美術館「Lee Ufan Arles」が2023年に共同設立した「Art & Environment Prize」。この賞は毎年、芸術的創造と環境の狭間に生まれる、多面的で有意義な繋がりを実現するプロジェクトや作品に贈られている。受賞者には、「Lee Ufan Arles」でのアーティスト・イン・レジデンスを授与。アルル中心部に特別な制作スペースが提供され、レジデンス終了後は、作品の展覧会を開催することができる。

そして昨年、この名誉ある賞に輝いたのがフランス人の女性アーティスト、カロリーヌ・コルバッソン。彼女は、パリを拠点に木炭ドローイング、写真、彫刻、映像などさまざまなアプローチで「広い宇宙における人間の位置とは?」という問いかけを追求しているアーティストだ。すでにアルルで作品作りに励んでいるカロリーヌに会いに向かった。

「今回、初めてキャンバスを使った作品に取り組みました。10年間、続けてきた木炭ドローイングから抜け出し、ここでは新しいことに挑戦してみたかったです。アクリル、油絵、インク、パステルと色々持参し、模索しました。削って、修復して、また塗り重ねてと抽象と具象の間にある緊迫した何かを探し求めていたのです。ぱっと見は抽象的だけど、よく見ると水面に反射する光の風の形のように普遍的なイメージが見えてくる。そんな作品に仕上がっていると思います」

そんな彼女にとって、自然は原点。フランスで生まれ、カナダやアメリカなどで育ったカロリーヌは、いつも広い空と美しい自然の風景に心を寄せてきた。「昔から、肉眼では見えない空、宇宙を描くのが好きでした。でも今は、もっと地に足がついている感覚があります」

アーティストになり、緻密なモノクロの作品を多数描いてきた彼女だが、今回はダイナミックに表情豊かな青色を使っている。「アルルに来て、新しい扉が開いた。表面を破り、ようやく内側に潜り込み始めた感覚があります」



「アルルのこの場所にいるという、私の“身体的な感覚”を、作品を通して表現したかったです。どこでも制作できるような作品にはしなかったのです」とカロリーヌ



4歳の娘の母でもあるカロリーヌ。「育児と仕事の両立で、いつも表層にとどまっている感覚があった。本質に届かないというか。その殻を今回、破れた気がする。私は少しメランコリックで内向的なので、ひとりの時間やアトリエの中で過ごす静けさを必要としていたのだと思う」。実は詩も書く彼女は、アルルで制作した作品の展覧会「Something Move」の開催に合わせ、自らの詩を集めた書籍も出版する予定

蟹座 Cancer 6月22日→7月22日★血を滾らす作用もある火星が8月7日からあなたの安全域を刺激。感情に流されず冷静に状況を見極めること。仲間や家族内のハートも意識しながらあなたが一歩リードする形で動いてみて。



Into Fall

秋は、バッグが連れてくる

秋の訪れを告げるのは、いつだって時代を牽引するトップブランドのitバッグ。名品のリバイバルから季節の色を宿したアイコンックなデザインまで、新シーズンのエッセンスをいち早く取り入れて。

styling: Mutsuko Matsukawa
text: Miyuki Kikuchi

1. Louis Vuitton グレー×ブラックのコンビにシルバーのメタルパーツを施して洗練された雰囲気。サイドストラップでマチを広げて使えるのも魅力。バッグ“LV バイカー PM” [W30×H12×D12cm] ¥660,000 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **2. Dior** 編み込まれたフリンジが印象的。ボヘミアンなムードを漂わせるバッグはコーデの主役に。バッグ“ディオール トゥージュール” [W28.5×H21.5×D19cm] ¥1,850,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) **3. Gucci** GGバターのデニムで仕立てたクラシカルなデザインのバッグ。インナーには取り外し可能なポーチを備え、使い勝手も抜群。バッグ“グッチ ジリオ” [W42×H47×D16cm] ¥309,100 (グッチ/グッチ クライアントサービス) **4. Fendi** 2005年春夏コレクションで発表された伝説のitバッグ“スバイバッグ”がコンテンポラリーにアレンジを加えリバイバル。ユニークで強い存在感を放つ新たなアイコンバッグを相棒にして。バッグ“フェンディ スバイ” [W32×H18×D12cm] ¥499,400 (フェンディ/フェンディ ジャパン) **5. Loewe** ナバカーフスキンとスエードを重ねて圧縮し、表面を削ることで唯一無二のアートのような逸品に。バッグ“バズル ランドスケープ スモール” [W24×H16.5×D10.5cm] ¥649,000 (ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス) **6. Miu Miu** スクールバッグのようなムードが懐かしもモダンで今の気分がぴったり。ボケットバッグの特徴的なラインを再解釈し、さらに機能的にアップデート。バッグ [W32×H22×D14cm] ¥638,000 (予定価格) (ミュウミュウ/ミュウミュウ クライアントサービス) **7. Valentino Garavani** レッドにブラックの「V」とゴールドチェーンが目印のトート。エッジの利いた主役級バッグをコーデのスパイスに。メディアムトートバッグ“ヴィヴァー スーパースター” [W37×H26×D2cm] ¥438,900 (ヴァレンティノ ガラヴァーニ/ヴァレンティノ インフォメーションデスク) **8. Bottega Veneta** 一輪の花が咲いたような繊細なデザインのクロージャが愛らしいワッチバッグ。トップハンドル付きで、手持ちでも小脇に抱えても絵になる付まいを約束。クラッチバッグ“アンディアーモ” [W31×H13×D3cm] ¥643,500 (ボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタ ジャパン) **9. Chloé** 2005年に初めて登場したメゾンの代表作“パディントン”バッグが復活。柔らかなシルエットと馬具のディテールがエフォートレスなラグジュアリーを物語る。バッグ“パディントン” [W36×H18×D18cm] ¥398,200 (クロエ/クロエ カスタマーレーションズ)

双子座 Gemini 5月21日→6月21日★人々の交流や新しい情報を活発にキャッチしていくことで、芽えたアイデアが降り注いでくる時期。確信を持った発信が功を奏し、思いが形になり今後のチャンスや金脈に成長しやすい。



Sport in Life

人とのつながりを生み、幸福感を高めるスポーツの力

心身ともにリフレッシュするスポーツ。参加することも観ることも、ウェルビーイングを促進するといわれる。人との交流やスポーツを取り巻くカルチャーは、アクティブで楽しい時間をもたらす。トップアスリートとして活躍してきた為末大は、スポーツについて多角的な視点で発信している。人生を豊かにする向き合い方とは？

text: Saya Tsukahara

ることが、生涯運動を続けることにつながるのではないかと思います」

そもそもスポーツの定義とは何だろうか。実は明確に定まっていないと為末は語る。

「sportの語源は、ラテン語のdeportare。うさを晴らす、日常から離れるという意味があります。詩を詠んだりすることも含まれていたようです。『スポーツとは勝敗やルールがあり、指導者がいるものだと思っていた』という方が結構多いのですが、散歩で十分。大切なのは楽しいかどうかだと思います。健康維持のために続けられる人もあまりいないでしょう」

いい姿勢が一番大事

日常的に体を動かすことの効用はさまざまある。第一に、体力の向上。体力があってこそ、あらゆる活動は維持される。

「文字を読む時にも、目の筋力を使っています。この筋力が衰えると、本や書類を読むのがつらくなってしまう。認知機能や知能にも体力は関係しているのです」

姿勢の歪みによる肩凝りなども、体力があれば起きづらいと指摘する。

「いい姿勢を手に入れることが一番大事だと思います。我々の体に影響を与えているのは重力。重力に対して、効率のいいポジションをとることが重要です。人間は四足歩行から進化して今に至りますが、四足歩行の名残があり、完全な直立ではないといわれています。首の位置が少し前に出ていたり、腰も湾曲していたりするのです」

日頃の姿勢について、こうアドバイスする。「年齢を重ねると、背中面積が広く見えるようになっていきがちです。後ろから見た時に背中が小さく見えるように姿勢を正すといいでしょう。また、床に寝た時、自分の背面がなるべく地面につくのがいい状態。腰は誰でも少し浮きますが、みぞおちあたりまで浮いてしまっている人も。老いは姿勢に表れます。いつまでもピンとしていたいですね」

人間関係が健康に影響する

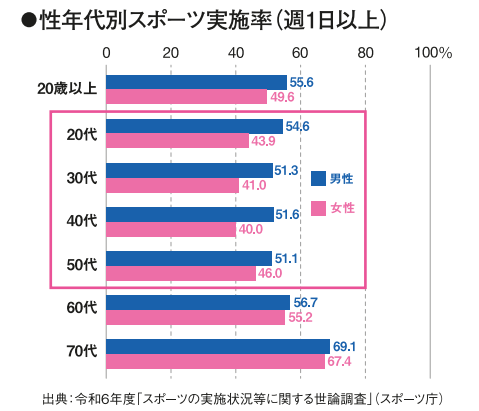
第二に、スポーツはメンタルにおよぼす影響も大きい。有酸素運動をすることで、「幸せホルモン」と呼ばれるセロトニンなどの神経伝達物質が分泌されるといわれる。

スポーツの定義とは？

為末大は現在、執筆活動などを通して、幅広い層に向けてスポーツのもたらす豊かさを伝えている。

「アスリートは引退後、選手の育成に力を注ぐ人がほとんどですが、僕はむしろ、スポーツにあまり親しみがない人たちを支援したいと思っています。たとえば、学生時代の体育でスポーツが嫌いになってしまった人は世の中にたくさんいると思うんです」

スポーツ庁が令和6年度に実施したスポーツ実施率に関する調査を見ると、20歳以上で週1日以上スポーツを実施する人の平均は52.5%。20～50代の働く世代は実施率が低い傾向にある。



「働いている頃は忙しく、仕事を引退された後、年齢的にも健康に関心が向いてスポーツを始める方が多いのでしょう。また、日本ではスポーツと学校教育の結びつきが強く、学校を卒業した後にやめてしまいがちです。『やるならちゃんとやらなきゃいけない』という意識が強く、気軽に取り組みづらい面もありますね」

なぜ「ちゃんとやらなきゃいけない」と思うようになるのだろうか。

「理由の一つとして、日本のスポーツ界は競争に重きを置いていることが考えられます。甲子園などもそうですが、日本ではトーナメント制が一般的で、勝ち上がらないと試合のチャンスを得られない。一方、ヨーロッパではトーナメント制はあまり行われていません。たとえばドイツでは高校までの全国大会が禁止されていて、地域の中で自分のレベルに応じた相手と試合をします。スポーツ人口のうち、五輪を目指すような人たちはごくわずか。競争よりもスポーツを通して楽しい経験をす



Swing Chic

ゴルフが導く優雅な時間

大人の品格と余裕を物語るスポーツ「ゴルフ」。自然の中で喧騒を離れ、静かに自分と向き合うそのひとときを彩るのは、洗練されたウェアや小物たち。スタイルにも心にもさらに自分らしさの輝きを添えてくれる。

styling: Mutsukoi Matsukawa
text: Miyuki Kikuchi

1. Louis Vuitton モノグラム・キャンバスに鮮やかなグリーンのレザーを利かせたスタイリッシュなポーチ。ゴルフボール3つとティー4本をセットできて、ゴルフバッグやベルトループに取り付け可能。ポーチ”ゴルフセット・アンドリュース” ¥118,800 (ルイ・ヴィトン / ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **2. Gucci** GGパターンとフロントを飾るウェブ ストライプが印象的。コーディネットの仕上げに加えるだけで、装いがリクスにクラスアップ。サンバイザー ¥75,900 (グッチ / グッチ クライアントサービス) **3. Fendi** 「FF」ロゴモチーフがキャッチーなゴルフクラブ用ヘッドカバー。ドライバー、ウッド、ハイブリッド用の3点がセットされている。ヘッドカバー ¥337,700 (フェンディ / フェンディ ジャパン) **4. Fendi** シックな「FF」ロゴ柄にポケットを多数あしらった機能性の高いゴルフバッグ。ハンドルと調節可能なパッド入りショルダーストラップが付いているのも嬉しい。ゴルフバッグ ¥3,355,000 (フェンディ / フェンディ ジャパン) **5. A.P.C. GOLF** 通気性に優れたシープスキンを使用したグローブ。フロント部分の「A.P.C.」のロゴがアイコンック。グローブ ¥6,600 (アー・ペー・セー ゴルフ /アー・ペー・セー カスタマーサービス) **6. Cole Haan** クラシカルなシルエットに上質レザーを合わせたレースアップシューズ。スパイクレスで安定感のあるラバーアウトソールが一日中足元をサポートしてくれる。シューズ”オリジナルグランド ショートウィング ゴルフ” ¥36,300 (コール ハーン / コール ハーンジャパン) **7. Celine** シルバーボルトに描かれたトリオンフ柄とレザーストラップがラグジュアリー。スポーツやアウトドアシーンのみならず毎日使いたくなる。ウォーターボール ¥70,400 [予定価格] (セリーヌ / セリーヌ ジャパン) **8. Tommy Hilfiger Golf** ロゴを配した遊び心溢れる水囊はプレイ中の熱中症対策に最適。ゴルフはもちろんライブ観戦など様々なシーンで活躍すること間違いなし。水囊 ¥5,940 (トミー ヒルフィガー ゴルフ / ヤマニ) **9. Lacoste** ネイビーにビュアホワイトのバイニングがエレガントな Poloシャツはタウンユースにも好相性。グリーン映えるホワイトのスカートを含わせフレンチシックに決めて。Poloニット ¥19,800 スカート ¥15,400 (ともにラコステ / ラコステ お客様センター)

Sport Mix

モードに息づくスポーツの感性

日々の装いにスポーツマインドを取り入れることで、ライフスタイルをポジティブに演出。ハイブランドならではのシックで遊び心のあるアイテムが大人のアスレジャースタイルを優美に導く。

styling: Mutsukoi Matsukawa
text: Miyuki Kikuchi

1. Max Mara 「Max Mara Gram」のMロゴがキャッチーなキャップはシーズンレスで活躍。一点投入するだけで一気にスポーティなムードに。キャップ ¥70,400 (マックスマラー / マックスマラー ジャパン) **2. Hermès** 「Apple Watch Hermès」から、Hのモチーフをあしらった”キリム”ラバーバンドにディプロイアント・バックルを組み合わせたスポーティでシックなモデルをチョイス。”Series 10 ケース & Apple Watch Hermès シンプルトゥール キリム 42mm” ¥196,800 (エルメス / エルメスジャパン) **3. Givenchy** メタル素材の近未来的なデザインとエッジの利いたフォルムが圧倒的な力強さを放つサングラス。コーディに一点投入でモードな印象に。サングラス ¥102,300 (ジバンシィ by サラ・バートン / ジバンシィ ジャパン) **4. Louis Vuitton** モノグラム・パターンが気分を上げてくれるアイコンックな「エティ・ラケット テニス」。ラケットホルダーには持ち運びしやすいようジャカード・パターンのストラップと、ポーチにはテニスボール4つをセットに。テニスラケット [W28.5×H43×D10.5cm] ¥289,300 (ルイ・ヴィトン / ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **5. Celine** センターのトリオンフロゴが印象的なブラトップはジャージー素材で肌触りが◎。レギンスやトラックパンツとの相性も抜群。ブラトップ ¥79,200 [予定価格] (セリーヌ / セリーヌ ジャパン) **6. Gucci** ラグジュアリーなボールでビーチバレーボールはいかが？ 最新コレクションから登場したバイカラーのボールで夏のビーチシーンをエンジョイ。ビーチバレーボール ¥169,400 (グッチ / グッチ クライアントサービス) **7. Chloé** ボクシングシューズとバレエシューズをMIXした一足。フェミニンなムードと軽量で歩きやすい機能性が融合。スニーカー”クロエ キック” ¥100,100 (クロエ / クロエ カスタマーリレーションズ) **8. Prada** Re-Nylonを使用したモダンなスポーツタオルポーチ。アイコンックなトライアングルロゴがさりげなく視線を惹きつける。スポーツタオルポーチ ¥108,900 [予定価格] (プラダ / プラダ クライアントサービス) **9. McQueen** 落ち着きあるグレーにメタルのジップディテールが映える。ジップを開けるとチェックのライニングが覗く、遊び心が宿るデザイン。プルズン ¥344,850 (マックイーン / マックイーン クライアントサービス) **10. Miu Miu** 贅沢なテクニカルシルクをアクティブに仕上げたドレスで、軽やかかつモダンな着こなしを。ドレス ¥462,000 [予定価格] (ミュウミュウ / ミュウミュウ クライアントサービス)



Karine Dubreuil-Sereni/カリヌ・デュブリユ・セレーニ
調香師、クリエイター。“香水の都”として
知られる南仏グラス出身。調香学校を経て、
フレグランス開発に携わり、2012年に自身の会社である
「Vox Profumi」を設立。「ランパン」「グッチ」「ゲラン」などの
名だたるメゾンの香水を手掛ける。



彼女のプロダクトには、貴重で高品質な原料が使われている

marie claire fragrance

カリスマ調香師カリヌ・デュブリユが表現する『マリ・クレール』オリジナルの香りとは？

日常に幸福をもたらす『マリ・クレール』のフレグランスのプロジェクトが始動。
創作に携わった調香師カリヌ・デュブリユに、特別インタビューを行った。
香りの魅力と、その舞台裏をレポート。

text: Kiriko Sano

フランスのエスプリを体現する『マリ・クレール』。その世界観を表現するフレグランスの制作がスタートした。開発を手掛けるのは、フランスの調香師であるカリヌ・デュブリユと、フレグランス商材の企画・製造を専門とする株式会社オフィスウエノ。「このコラボレーションは、とても喜ばしいものです。私にとって、『マリ・クレール』はとてもなじみ深いもの。10代の頃から雑誌を愛読していたうえ、香水業界においても、本国での『マリ・クレール フレグランス アワード』という賞は、非常に権威ある賞として知られています」とカリヌ氏。

今回のフレグランスは、ふわりと優しげなニュアンスが特長だ。「昼でも夜でも、いつでも纏うことができる香りを目指しました。季節を問わず、暑い夏には軽やかに寄り添い、冬にはまるで魔法のように包み込まれるような香り立ちです。フローラルノートにウッディさが加わり、特別なエレガンスが生まれ、ムスクが心地よさと柔らかさ、忘れ難い余韻をもたらすのです」
創作のインスピレーションを聞くと、日本をはじめとする東アジアの人々の嗜好や、南仏での思い出を挙げてくれた。「私が2002年に手がけた『ランパン』の『エクラ・ドゥ・アルページュ』や『ロクシタン』のフレグランスは、特に東アジアで大きな成功を収めました。非常に繊細で洗練されたフローラルノートが好まれることがわかり、くしくもそれは、私が幼少期に南仏のグラスで嗅いでいた香りそのものだったのです。子どもの頃、花や木々にあふれた庭のある祖父母の家で多くの時間を過ごした経験が、私の嗅覚を育んでくれたように思います。東アジアと南仏に香りの共通点

を見出してからは、繊細なフローラルを基調に、フルーティなニュアンスや、なめらかなホワイトウッド、持続性を高めるムスクを組み合わせた香水の数々を発表しました」

日々のクリエイションは、挑戦の連続なのだという。「香りはとても個人的で親密な感情を呼び起こすものであり、それを言葉で説明するのは簡単ではありません。フレグランスをつくる際に、国際的なブランドからは、文化や国境を超えてできるだけ多くの人々に

好まれる香りを求められることがあります。しかし、嗅覚や食文化の伝統は国によって大きく異なるため、万人に好まれる香りを目指すことは非常に難しいのです。加えて、遠く離れた地域から天然の原料を調達することや、気候変動、不安定な地政学的状況、そして時には私たちの調香パレットから特定の原料を排除するような、ますます厳しくなる規制への対応など、多くの課題がありますね」

今回のプロジェクトを主導し、カリヌ氏と『マリ・クレール』の融合を実現させた株式会社オフィスウエノ代表の上野レイモンド圭さんは、このコラボレーションを希少なものであると証言する。「香りのストーリーテリングに長け、名作の数々を手がけてきた彼女は、まるで音楽における息の長いアーティストのよう。『旬な作品』から『不朽の名作』まで、振れ幅が広いのが魅力です。今回の香調は、日常に寄り添い、世代を問わずジェンダーレスに使えるため、多くの人に愛されることを確信しています。パッケージデザインは『マリ・クレール』のパリ本部にあるブックのデザインを引用し、本部の監修のもと、『マリ・クレール』の世界観を表現できるものになる予定です」

プロダクトのローンチまであと少し。今後、ファブリックミストなどの展開も検討しているのだという。香水という形で表現される、『マリ・クレール』らしさ。その誕生が、今から待ち遠しい。発売は来春予定。



上野レイモンド圭
オフィスウエノ代表。
欧州の老舗フレグランスブランドの
日本市場展開をリードし、
数々のヒット商品をプロデュース。
今回のプロジェクトでは
長年親交のあるカリヌ氏を起用。
マギル大学MBA取得。

商品に関するお問い合わせ
株式会社オフィスウエノ: info@officeueno.jp
または下記QRコードのお問い合わせフォームより。



水瓶座aquarius・1月20日～2月18日★8月20日に水瓶座で起る満月が、あなたの人生の大事な局面の振り返りを後押ししてくれる。パートナーとの協調性や共通の目的を再確認することが互いの良い理解に繋がる暗示。



TAKAMI



CLARINS



FAS



POLA



SHISEIDO



SK-II



ASTALIFT



BAUM



MIMC

Daily UV Protection

アクティブに過ごすための「UVケア」

お出かけやアクティビティを楽しみたい夏。UVケアとともに多くの時間を過ごすからこそ、納得の一品を選びたい。
高機能アイテムの進化ポイントとともに、注目製品をご紹介します。

text: Kiriko Sano

TAKAMI 肌なじみのよいエアリーなタッチが、義務的になりがちな毎日のUVケアを、ポジティブな習慣へと変えてくれるはず。タカミUVプロテクション SPF50 PA++++ 30mL ¥4,400 / タカミ **POLA** 美容液級のスキンケア成分を複数配合し、長い酷暑に対応。スルスルとなめらかな使い心地も秀逸。ホワイトショット セラムUV SPF50+ PA++++ 【医薬部外品】 45g ¥7,150 / ポーラ **SK-II** 一日中、肌にピテラ™やスキンケア成分をチャージ。思わず“もっと塗りたくなる”極上のテクスチャーとケア効果。ジェノプティクス CC プライマー ナチュラルベージュ SPF50+ PA++++ 30mL ¥9,900 (編集部調べ) / SK-II **ASTALIFT** 太陽光を青色光に変換し、光を味方に肌をトーンアップさせる自然な化粧下地効果が魅力。アスタリフト D-UVシールドトーンアップ ローズ SPF50+ PA++++ 30g ¥4,290 / 富士フィルム **BAUM** ひのきが香る異色のUVケア。湿度の高い日でも清々しい気持ちになれ、日焼け止めが苦手な人にこそおすすめ。BAUM ダブルプロテクション デイシールド n SPF50+ PA++++ UV耐水性★ 60mL ¥5,500 / BAUM **MIMC** 植物由来成分でひんやりとした使い心地を実現したボディ用UV/パウダー。皮脂を吸着し、汗やテカりの不快感を軽減。ボディパウダーサンスクリーン カーミングブリーズ SPF50+ PA++++ ¥5,500 / MIMC **SHISEIDO** 汗や水、熱でガード膜を強化する高機能な透明スティック。気になる汗のニオイを目立たなくさせる機能も搭載。パーフェクト サン プロテクター スティック SPF50+ PA++++ 20g ¥4,180 / SHISEIDO **FAS** 京丹波産の黒豆由来の成分などで、都市型の大人世代ならではの肌リスクを全方位からケア。しっとりとうるおう心地よさ。FAS ザ ブラック クリーム SPF50+ PA++++ 【医薬部外品】 40g ¥6,600 / シロク **CLARINS** 透明に変化するサラッとしたスティックタイプは、メイクの上からでも心地よく使え、日中のお直しに最適。インビジブル サンケア スティック ハイプロテクション SPF50 PA++++ UV耐水性★ 17g ¥4,510 / クラランス

山羊座capricorn・12月22日～1月19日★協力関係を上手に構築することが鍵。互いの歩み寄りが互いの力を引き出せる暗示。仕事では新しい方法を試す価値あり。生産性や効率を高める工夫が大きな結果を残せる流れ。



咲き誇る丘陵、光り輝くアルプスの峰々、雄大な火山、穏やかな湖など、イタリアの内陸地の自然の美しさを讃えるシリーズ「LANDSCAPES OF THE SOUL(心の風景)」。

トスカーナの風景から生まれた「Dolce Stil Novo(ドルチェ スティル ノーヴォ)」ネックレスは、31.46カラットのエメラルドが燦然と輝き、美しい「彩りのダイヤモンド、エメラルドで象ったフラワーモチーフが女性らしさを表現

イタリアの芸術都市を想像させるシリーズ「DWELLINGS OF TIME(時のすみか)」から、パンテオンのドームやサン・ピエトロ大聖堂などローマの建築にインスピレーションを受けたネックレス「Aethernitas (エテルニタス)」。

ホワイトゴールドのネックレスの中心には、ファンシー・イエロー・グリーンのダイヤモンドがアクセントを添える。ヘッド部分を取り外しブローチとしても使用できるデザイン

光、フォルムそして本質の完璧なバランスを表現するという美的感覚の理想から生まれた「ヴェヌスタス ピアス」。

ピンク、パープルで彩られた幾何学モチーフの先端には、ホワイトオパールがあしらわれ魅惑的な輝きを放つ

ボルトフィオーネのエlegantな魅力にインスパイアされた「ジョイ・デル・マーレ」ネックレス。

夏の夕べのエッセンスを表現し、爽やかな輝きを放つバライバトマルリンが、海岸に打ち寄せる海の輝きを想起させる

「特別なことは何もしていません。忍耐強く働き、好奇心を持って学び続けてただけです」。宝石の調達からデザイン、製品開発まで、あらゆる領域で指揮を執るジョルジョ・ダミアニは、そう自身のキャリアを振り返る。宝石の買い付けのため世界を飛び回っていた父ダミアーノ・ダミアニは、ジョルジョが10歳の頃には一緒に連れていってくれるようになったという。「子供の頃から仕事に携われたのは大きな財産」と語る。

宝石、デザイン、職人技 ― そのすべての結晶であるハイジュエリー。6月にローマで発表された「ダミアニ」のハイジュエリーコレクション「Ode all' Italia」でとりわけ際立つのは、そうそう目にするのできない希少な宝石が数多く登場することだ。

「最高の石を手に入れるのは、家族という幸運に恵まれているからです。私たちと同じように、宝石のサプライヤーの多くも、家族経営。人と人とのつながりが大切なこのビジネスにおいて、祖父や父の世代から強い絆で結ばれているという事実は、私たちの大きな強みになっています」

「ダミアニ」のジュエリーピースにおける石の組み合わせ方は独創的だ。デザインを考える前に、まずは石を選ぶという。

「ジュエリーに使う石を選ぶとき、希少さも重要ですが、その石がいかにもユニークかということももっと重要です。『これだ』という感情を呼び起こすような、本当にほれ込んだ石を自由に選ぶ過程が好きです。そうして生み出す作品は真にユニークで、唯一無二であることを保証します」

創業100周年を迎えた2024年、「ダミアニ」は代表的なコレクションに焦点を当てた100点の新作ハイジュエリーを世に送り出し、その真価を発揮した。それから1年あまり、今回掘り下げたのは「イタリアへの賛歌」という新しいテーマだった。

「既存コレクションの特徴を生かしつつも、私たちは多様な分野を探究し、常に創造性を広げていく必要があります。このコレクションを通じ、『ダミアニ』としてイタリアの卓越性を体現したかったのです」

ジョルジョが「家族経営を成功させる秘訣は、皆で同じビジョンを共有すること」と話すように、想いは図らずも共鳴する。広報戦略を統括する姉のシルヴィア・ダミアニも「100周年で終わりではなく、次に何を見せていくかが大切です。姉弟でブレインストーミングをして、私たちの本質であり、多くの着想を与えてくれた『イタリア』に敬意を表すことにしたのです」と語る。

ジョルジョは「ダミアニ」の誇るべき点を「常に情熱を持ち、最善を尽くしていることです」と話してくれた。一見、当然のことのようだが、次の言葉からその強い信念を感じた。「家族経営である私たちは、ブランド名として家族の名前を掲げています。これはジュエリーを売るだけでなく、私たち自身を売っているということでもあります。ですから、本当の意味で自らに責任を負っているのです」



Giorgio Damiani
ジョルジョ・ダミアニ
ダミアニ・グループ代表取締役副社長
兼商品開発部門責任者
1971年生まれ、イタリア出身。
「ダミアニ」創業家の2代目ダミアーノ・ダミアニの次男として誕生。
現在、兄グイド、姉シルヴィアとともに「ダミアニ」の経営に携わる。



厳選された原材料とメゾンの熟練した職人の手作業によって生まれる「マレア・ローザ」ネックレス。

ジューストーンの輝きを最大限に引き立て、独創的なデザインを形にする緻密な金細工の技。そのすべての制作工程にクラフツマンシップの卓越性が見て取れる



DAMIANI

息を呑む美しさ、想像を超える技巧 イタリアの美を讃える 「ダミアニ」の新作ハイジュエリー

昨年、創業100周年を迎えた伝統あるイタリアン・ジュエラー「ダミアニ」。その美意識と卓越したクラフツマンシップを極めたハイジュエリーコレクションの新作「Ode all'Italia」がこのほどローマで発表された。

イタリアへの賛歌をテーマとした圧巻のクリエーションをご紹介します。

photos: ©DAMIANI
text: Shunya Namba

イタリアの象徴的な風景や建築、美しい自然から着想を得て生まれたハイジュエリーコレクション「Ode all'Italia」。

イタリアの海岸リゾートをイメージした「LIGHTS OF THE SEA(海の光)」と名付けられたシリーズからは、サルディーニャ島にオマージュを捧げたネックレス「Marea Rosa(マレア・ローザ)」が登場。

46カラットを超える壮麗なバライバトマルリンと、ビーチや海の煌めきを思わせるモルガナイト、ダイヤモンドの輝きに目を奪われる



〈左〉イベントには本作のキャンペーンアンバサダー 6人のうち5人が登場。《左から》グラミー賞受賞シンガー・ソングライターのテムズ、K-POPスターのダニエル・マーシュ、オビニオンリーダーであるアシェリー・グラハム、BAFTA (英国アカデミー賞) 受賞俳優のマリサ・アベラ、アカデミー賞受賞俳優でありパフォーマーのアリアナ・デボース

OMEGA

“シーマスター アクアテラ 30MM”をお披露目 京都の夜を彩った「オメガ」の新たな美学

世界的に人気を博すスイスの時計ブランド「オメガ」は、6月、アイコンックなコレクションのひとつ
“シーマスター アクアテラ”の最新作をお披露目する特別なイベントを京都にて開催。
会場となった將軍塚青龍殿を国内外のゲストが訪れ、その誕生を祝福した。



日本からも多くのセレブリティがイベントに参加し、会場は華やかなムードに包まれた。〈左から〉「オメガ」フレンドである吉高由里子、柴咲コウ、きやりーぼみゆぼみゆ



30mmという洗練されたサイズに、2年の歳月をかけて開発された高性能な自動巻きムーブメントを搭載。素材の妙と個性が際立つ全12種類のバリエーションから、印象的な3本をご紹介。時計“シーマスター アクアテラ 30MM”〈左から〉[セドナ™ゴールド、ケース径30mm、自動巻き]¥4,906,000 [ムーンシャイン™×マザーオブパール×ダイヤモンド、ケース径30mm、自動巻き]¥2,827,000 [ステンレススチール、ケース径30mm、自動巻き]¥1,001,000(すべてオメガ)

「日本は高級時計市場において、世界の中でもリーダー的な役割を担っています。またクラフトマンシップを重んじる国であり、世界を見渡しても、スイス以外でこれほど職人技と美意識が根付いた国は他にありません」と語るのは、「オメガ」社のレイナルド・アッシェリマン社長兼CEO。今回、新作レディスウォッチ“シーマスター アクアテラ 30MM”のグローバルローンチをブランド初の京都で行った背景には、そうした日本との深い文化的共鳴があるという。

「今回の新作には、『オメガ』最高峰の技術、新開発のムーブメント、そしてブランドのヘリテージが凝縮されています。何年もかけて完成させたこの時計は、細部にわたって妥協のないラグジュアリーを体现しています。一方で、我々が大切にするのは、単なるスペックや派手な演出ではありません。『オメガ』は“声高に主張する”ブランドではなく、“インティマシー”＝人と人との親密さや内面の価値を大切にしているのです」

こうした姿勢は、次世代との向き合い方にもつながる。今回の新作キャンペーンでは、多方面で活躍する若い世代の6名のアンバサダーを起用した。「ニュージェネレーションと呼ばれている若い世代は非常に感受性が豊かで、インスピレーションを求め、自ら発信する力も持っています。我々もその感性に込めていきたい」

そしてアッシェリマン氏は、その先にあるブランドの姿勢をこう語る。「私たちは、ヘリテージを礎としながらも、ノーリミットで進化し続ける存在でありたい。驚きとモチベーションを届けるという信念に、これからも忠実であり続けます」



一夜限りの空間には、フォトブースの設置や、臨場感あふれるパフォーマンスなど、日本の伝統芸術と現代的な感性が融合したインタラクティブな演出が行われ、ゲストは「オメガ」の世界観を満喫



レイナルド・アッシェリマン
「オメガ」社 社長兼CEO

DAMIANI



ローマの中心地にある「パラッツォ・リベッタ」で発表されたハイジュエリーコレクション。イタリアの歴史が宿る空間に芸術的な作品の数々が一堂に並び、訪れる人を魅了

Exhibition イタリアの卓越性を体感するローマでのお披露目と祝宴

「ダミアーニ」がハイジュエリーコレクションの新作「Ode all' Italia」のお披露目に選んだのは、ローマ中心部に位置する「パラッツォ・リベッタ」。小さな門をくぐると豪華なバロック建築、静かな庭園、現代的なイタリアンデザインが融合した空間が現れ、まるで秘密の美術館のよう。

「Ode all' Italia」を構成する76の新作ハイジュエリーがずらりと並び、イタリアの卓越性に会おう旅へといざなった。透き通るような海、穏やかな田園や雄大な火山、都市に見られる壮麗な建築物—既成のデザインコードのない自由な発想から生み出された作品の数々は、多様性と独自性に満ちたイタリアの知られざる美しさを発見する機会を与えてくれる。特に、色や素材の斬新な組み合わせは、イタリアの色彩豊かな表情を見事に表現し、想像をかきたてるものだった。

フレスコ画に囲まれた広大な歴史的建造物「コルシエ・システイーネ」で行われたガラディナーでは、「ダミアーニ」ファミリーが世界中から集ったセレブリティらを迎え、メゾンの歴史の新たな1ページをともに祝った。イタリアの歌手、アシール・ラウロもパフォーマンスを披露し、来場者が歌声に酔いしれた。

「ダミアーニ」のもののづくりには、情熱と喜びが宿っている。そんな「ダミアーニ」の催しには不思議といつも、家に迎えられるような温かさを感じる。

- 1.2. ハイジュエリーの発表を祝うガラディナーは、フレスコ画が美しい歴史的建造物「コルシエ・システイーネ」で開催
3. ディナーに出席した「ダミアーニ」創業家ファミリー。〈左から〉ジョルジョ・ダミアーニ、シルヴィア・ダミアーニ、グイド・ダミアーニ
4. パフォーマンスを披露したイタリアの歌手、アシール・ラウロ



LOUIS VUITTON

1000点を超える歴史的アイテムが大阪に

ルイ・ヴィトン「ビジョナリー・ジャーニー」展

万博で沸く大阪で開催中のルイ・ヴィトン「ビジョナリー・ジャーニー」展は、日本との深い絆を

貴重なアーカイブとともに描き出す没入型エキシビション。メゾンの美学と革新を辿る壮大なストーリーをここで目の当たりにできる。

photos: ©Jeremie Souteyrat/LOUIS VUITTON, text: Tomoko Kawakami

現

在、大阪中之島美術館で9月17日(水)まで開催中のエキシビション、ルイ・ヴィトン「ビジョナリー・ジャーニー」展。日本

本というレンズを通して「ルイ・ヴィトン」の軌跡と未来を新たな視点から読み解く展覧会だ。1854年の創業以来、進化を続けてきたメゾンの歩みを辿るとともに、19世紀から続く「ルイ・ヴィトン」と日本との深い関係にもフォーカス。著名なファッション史家のフロランス・ミュラーがキュレーション、展示空間の設計は、国際的建築設計集団OMAのニューヨーク事務所を率いる建築家・重松象平が手がけた。

メゾンを象徴するトランクを現代的に再構築したドーム型のエントランスを抜けると、旅、革新、クラフツマンシップ、そして創造性に彩られた長い歴史を紐解く物語が幕を開ける。会場には、初公開の品を含む1000点以上に及ぶ貴重なアーカイブや資料、メゾン所蔵のアイテムに加え、世界的な芸術機関の協力により集められた名品が並ぶ。なかでも注目は、近年、奇跡的に無傷で再発見されたモノグラム・キャンバスのオリジナルのサンプルや、製造工程を実際に見られるスペース、希少なオブジェの数々。さらに、アンバサダーを務める十三代目市川團十郎白猿、広瀬すず、平野紫耀といったセレブリティをはじめ、グラフィックアーティスト・VERDYなどと所縁のあるトランクやドレスなどの展示も見逃せない。

メゾンの歴史に影響を与えてきた人々との絆に敬意を表しながら、礎となる卓越した職人技、そして創造性と革新性を尊ぶスピリットに触れる、「ルイ・ヴィトン」の時を超えた旅を、ぜひこの夏体感してみたい。



ルイ・ヴィトン「ビジョナリー・ジャーニー」展

会期: 9月17日(水)まで

会場: 大阪中之島美術館 5階展示室

開場時間: 日曜日～木曜日 10:00～17:00(入場は16:30まで)

金・土・祝前日 10:00～19:00まで延長(入場は18:30まで)

休館日: 月曜日、8/11(月・祝)、9/15(月・祝)は開館

※災害などにより臨時休館する場合があります。

主催: 大阪中之島美術館

特別協力: ルイ・ヴィトン

観覧料: 一般¥2,000、大学・専門学校生¥1,500、

高校生以下無料(税込み)

※本展は日時指定制です。

※障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は

観覧料の半額(要証明)。

ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください。

※本展は、大阪市内在住の

65歳以上の方も一般料金が必要です。

お問い合わせ先: 06-4301-7285

(大阪市総合コールセンター)



1. エントランスで目を引く「ルイ・ヴィトン」を象徴するトランクのインスタレーション
2. トランクや革新的なロック・システムをはじめとする、現在までつながるメゾンの原点を、アーカイブを通じて辿る展示スペース 3. 日本との関係をテーマにしたエリア。「ルイ・ヴィトン」が製作した鏡台ケースや着物ケース、雛人形や鎧兜、茶道道具を収めるトランクなどが展示されている



大阪府出身の日本人グラフィックアーティスト・VERDY。彼の作品の特徴である独自のタイポグラフィを描いたトランクが展覧会でも披露される

オリジナルトランクを求め、メゾン原点の地へ

本展の展示の見どころの一つがセレブリティに縁のあるスペシャルなトランクの数々。今回の展覧会に合わせて製作されたメゾンのアンバサダーを務める平野紫耀のトランクも見逃せない。展覧会の開催に先立って、平野はパリ郊外の街、アニエールを訪れた。1854年の創業から5年、成功を収めたルイ・ヴィトンはアニエールに住居兼アトリエを構えた。彼の美意識が詰まった邸宅に息を呑む平野。「ルイ・ヴィトンのファミリーが本当に好きなのを身の回りに置いて、大きな窓から外の季節を感じてインスピレーションを常に得られる環境を作っていたのだなと感じました」と話す。メゾンの原点であるトランクの大半は今でも、このアトリエで製作されている。平野がここを訪ねた理由もそれだ。「ひとつひとつ手作りということに本当に驚きます。とても繊細な作業で。唯一無二な感じがしますね」



〈左〉「壁面のトランクがおしゃれで、シャンデリアも綺麗」と平野。ルイ・ヴィトンとその家族が暮らしたアール・ヌーヴォー様式の邸宅で 〈右〉手作業で進められるトランク作りに興味津々の平野。「オリジナルキーにも特別感がありますね」

『marie claire』の視点から世界の様々なテーマを特集する番組「marie claireTV」がBS日テレで7月からスタート。7月27日に放映された、平野紫耀出演の「マリ・クレールTV ～ルイ・ヴィトンのエスプリに出逢う旅～」を、民放公式テレビ配信サービス「TVer(ティーバー)」の見逃し配信で2025年9月7日まで視聴できる。TVerへは、こちらから。

marie claire
TV

TVer



大阪・関西万博「ウーマンズ パビリオン」で「カルティエ」が表現する女性のエンパワメント EXPO 2025

大阪・関西万博に出展されている「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」。世界中のアーティストやアクティビストとともに、展示や対話を通して、女性のエンパワメントに向けた力強いメッセージを発信している。

text: Saya Tsukahara

Victor Picon ©Cartier



植栽は景観デザイナーの荻野寿也が近隣の山から集めたもの。万博閉会後には山へ還される

Victor Picon ©Cartier



日本の伝統的な組子に着想を得たファサード。クラフツマンシップと持続可能性を重視している



リード アーキテクト
永山祐子
2002年、永山祐子建築設計設立。
主な作品は「豊島橋尾館」
「女神の森セントラルガーデン」
「東急歌舞伎町タワー」など。
大阪・関西万博では、
「パナソニックパビリオン」も担当



グローバル アーティストック リード
エズ・デヴリン
ピヨンセ、ザ・ウィークエンド、
ナショナルシアターなどの舞台演出から
ドバイ万博の「英国パビリオン」まで、
さまざまな作品を手がける。
2012年ロンドン五輪では
開会式を担当

Victor Picon ©Cartier



Victor Picon ©Cartier

3人の声に耳を傾ける「THREE WOMEN」



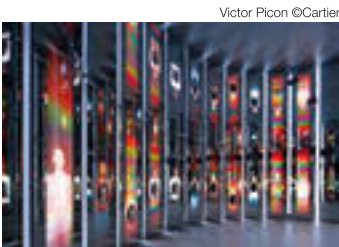
Victor Picon ©Cartier

語り聞き終わると扉が開き、
3人の人生を辿る「THREE PATHWAYS」



Victor Picon ©Cartier

静かな空間で時を過ごし、自己と向き合う「MA」



Victor Picon ©Cartier

多様なロールモデルからメッセージを受け取る
「YOUR HAND」

「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」

カルティエが、内閣府、経済産業省、博覧会協会とともに出展するパビリオン。大屋根リングの外で東ゲート側、日本館の隣に位置する。「WA」スペースでは、対談やパネルディスカッション、講演会などを開催。世界中からビジョナリーリーダーや専門家を招き、「大いなる地球」「ビジネスとテクノロジー」「教育と政策」「芸術と文化」「フィンランロビー」「役割とアイデンティティ」という6つのテーマで議論を交わす。どなたでも予約すれば参加可能で、8月以降も魅力あるセッションが展開される予定だ。過去のセッションの一部はカルティエ公式YouTubeで見られる。QRコードからチェックを。
<https://www.expo2025.or.jp/events/>
<https://register.cartier.com/ja/wa-2025>

Victor Picon ©Cartier



魚座pisces2月19日〜3月20日★誰かの基準や流れに委ねた決断ではなく、自分の本音を信じて動くこと。遊びや仕事に新しい面白さを見いだせる時、金運は歩引いた冷静な判断が必要。無理のない計画を立ててみて。



40を越すすべての工程ごとに
選り抜かれた物だけが、
最終工程へ



火・水・空気・土という自然の四元素が
人の手によって
付加価値のある物に



透明度や純度、カットや磨き、
エングレービングに
至るまで吟味される



パリを拠点とするインテリアデザイン事務所「モワナール・ベタイユ」によるデザイン。
フランスならではのエレガンスと伝統、革新を融合し、時代を超越した空間美が創造された



Laurence Nicolas
/ローランス・ニコラ
バカラCEO。マダガスカル生まれ。
サブサハラ・アフリカで育ち、
ビジネススクールを卒業。
カルティエ、ディオール他、
ラグジュアリー業界の
名門メゾンで経営幹部として
豊富な経験を持つ。2018年より
バカラの取締役を務めた後、
2025年、バカラCEOに就任。

Baccarat “暮らしの美学”が宿る、 「バカラショップ 丸の内」

5月24日、リニューアルオープンした「バカラショップ 丸の内」。創設260周年を迎え、自らのルーツに根を下ろしつつ、常に高みを目指し前進し続けるブランドの精神を体現するのがこのショップだ。バカラCEO、ローランス・ニコラ氏に、新店舗の魅力を通して表現される「バカラ」の魅力の真髄について聞いた。

text: Jun Makiguchi

賑やかな通りから一歩足を踏み入れれば、そこは「バカラ」が創り出す魅惑的な世界。「バカラショップ 丸の内」は、同じタイミングで移転リニューアルした「B bar Marunouchi」と共に、伝統と革新、日本への敬意が共鳴する特別な空間だ。1764年、フランス東部バカラ村に誕生した「バカラ」は、火・水・空気・土という自然の四元素から、比類なきクリスタルを生み出す技を確立。「飲びの錬金術師」とも称される職人たちが、260年にわたって真の傑作を生み出してきた。

——日本のお客様へのアプローチで意識したことは？
「回遊しながらすべてのコレクションをご覧いただける、オープンな構成を意識しました。日本生まれの商品も並んでいます。まねき猫・ダルマ・ポケモン・ハローキティとのコラボレーションも日本文化への敬意の表れ。日本の皆さまの工芸への感性やラグジュアリー観と、私たちの掲げる「Art de Vivre(暮らしの美学)」が深く響き合っていると感じています。20世紀初めより、日本の皇室からの注文や、大阪の茶人・美術商、春海藤次郎氏からの茶器の特別注文など、日本とは深い歴史的関係もあります」

——伝統技術の継承については？
「継承はバカラにとって最も重要なテーマのひとつ。40以上の製造工程を経て生まれる製品は、M.O.F.(フランス国家最優秀職人章)を持つ12名や、芸術文化勲章受章者を含む熟練職人によって支えられています。ガラス工芸の学校と連携し、社内に学校を設け、M.A.F.(フランス最優秀技能修習職人)を育成するなどして、技と精神を次世代へと伝えています」
——未来を見据えた取り組みも？
「ラグジュアリーメゾンにとって、伝統を守ることは、過去だけでなく未来を見据えることでもあります。現代のクリエイターや異業種ブランドとのコラボも、伝統の再解釈として位置づけています。ただし、絶対に譲れないのはクオリティです。「管理」ではなく、「選定」によって品質を保ち、基準に満たない作品は再び溶解して原料へ戻されます。実はクリスタルは、サステナブルな素材なのです。自然への敬意と、職人の安全も含めて、持続性への取り組みはバカラにとってすべて譲れないもののなのです」
——CEOが考える「ラグジュアリー」とは？

「必要不可欠ではないけれど、それがあって日々の暮らしが豊かになる——それが真のラグジュアリーです。何よりご自身、そして大切な人のために、美しいものを日常に取り入れること。それが、私たちが届けたい「Art de Vivre」です」

「バカラショップ 丸の内」
東京都千代田区丸の内 2-5-1 丸の内二丁目ビル1F
tel: 03-5223-8868
営業時間: 11:00〜20:00 不定休
「B bar Marunouchi」
東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1F
tel: 03-5223-8871
営業時間: 16:00〜26:00 日・祝 定休

Event Report

美食の街としての多彩な魅力を 日本でもアピール

TOKYO

カタルーニャを代表するシェフ2人による饗宴



〈上〉ガラディナーで料理を解説しながら作ったルスカイエダ氏=写真右=〈下〉「カルキニョリス(アーモンドの焼き菓子)、フレッシュチーズ、カタルーニャ産アンチョビ、マタロ産ワイン」は、塩辛いアンチョビと甘口ワインのマタロが絶妙にマッチ



〈上〉ロカ氏=写真左=がイベントで作った料理はいずれも創意にあふれていた〈下〉「ラクティックデザート: 羊乳、アイス、カラメル、チーズ、グアバ」は、蒸留された羊毛の香りを通して子供のころの記憶を料理で表現

食都としての関心の高まりを裏付けるように、国際ガストロノミー・文化・観光協会(IGCAT)が、カタルーニャ州をヨーロッパで初めて世界ガストロノミー地域(World Region of Gastronomy) 2025に選出。それに合わせ、ガストロノミー・ツーリズムの魅力を発信しようと、カタルーニャ州政府観光局は今年、プロモーションを世界各地で展開している。

日本でも、5月下旬にイベントを開催。その幕開けとなったのが、「Tasty Catalonia World Tour」と題して、5月26日にザ・リッツ・カールトン東京(東京・赤坂)で行われたガラディナーだ。イベントに合わせ、カタルーニャを拠点にグローバルに活躍するスターシェフのカルメ・ルスカイエダ氏とジョアン・ロカ氏が来日。

ルスカイエダ氏は2004年から2023年まで東京に「サン・パウ東京」を出店していたことでも知られ、ロカ氏は兄弟でミシュランガイド三つ星の「エル・セジェール・デ・カン・ロカ」を営む重鎮だ。イベントでは、カルソッツ(炭火焼ネギ)からパナジェッツ(アーモンドのマジパン)まで、17品がフィンガーフード形式で供され、2人も会場で料理を作って振る舞った。ファミリア・トレース社のクロ・アンセストラルなど、カタルーニャを代表する銘醸ワインも出され、来場者たちは多彩なマリアージュを楽しんだ。

両シェフは大阪市に移動して、大阪・関西万博会場内のスペイン館で5月28日に行われた「カタルーニャ 革新と前衛の地」と題した招待制のトークショーにも参加。2人とも、カタルーニャのガストロノミーが単なる文化的表現ではなく、変革、アイデンティティ、国際的な発信のためのツールであることを強調して、トークショーを締めくくった。



2人のスターシェフに加え、カタルーニャ州からも州政府関係者などが多数参加して行われた日本でのイベント。料理に合わせ、カタルーニャ特産のワインも提供された



ガラディナーでは、実際に料理を作って振る舞ったルスカイエダ氏(左)とロカ氏。解説を加えながら、カタルーニャの美食の真髄を披露した

OSAKA

ガストロノミーは国際的な発信のためのツール



〈上〉大阪・関西万博会場のスペイン館では、さまざまなイベントが開催された〈下〉ガストロノミーの将来について話し合ったルスカイエダ氏(左端)とロカ氏(右端)。2人は創意に富んだ料理が国際的な発信のツールになりうることを強調した

19世紀末から20世紀にかけて、カタルーニャからアントニ・ガウディ、ジョアン・ミロ、そしてサルバドール・ダリといったアーティストが次々と登場したように、20世紀末、料理界にもフェラン・アドリアという異才が現れた。「エル・ブジ」というレストランを舞台に料理と科学を融合させた分子ガストロノミーを開発。それまでの美食の概念を一変させた。

食材を泡状に仕立てるエスプーマやキャビアに見立てたアルギン酸のカプセルにメロンの果汁を閉じ込めるなど、科学の知見を応用した調理法や、醤油やユズといった日本の食材を使った斬新な創作が特徴。彼がシェフを務めた1997年から閉店する2011年までミシュランガイドの三つ星を保持し、「世界で最も予約の取れないレストラン」としても知られるようになった。

筆者も2002年春にバリコレの取材を終えて、「エル・ブジ」をプライベートで訪れたことがある。バルセロナから車で北へ2時間ほど。入り江を見下ろす場所にあるレストランに入ると、席につく前に実験室のような器具の並ぶ厨房を案内された。料理はお任せで、数十皿続いただろうか。懐石料理からも影響を受けているとのことだったが、食べているこちらは驚きの連続。食事というより、アーティストのパフォーマンスを体験している感覚に近かった。

2003年には、『ニューヨーク・タイムズ・マガジン』が表紙に彼を起用。「The Nueva Novelle Cuisine(新ヌーベル・キュイジーヌ)」というタイトルで、カタルーニャを中心としたスペインが、フランスを超えて美食の中心地になったとの記事を結んだ。「エル・ブジ」で研鑽を積み、カタルーニャの多様な歴史や複雑な風土を反映させたイノベティブな料理を供するシェフも世界各地に増え、カタルーニャは21世紀の食都となった。

実際、カタルーニャにはミシュランガイドの星を獲得したレストランが62軒ひしめき、星の総数は77にもなる。「エル・セジェール・デ・カン・ロカ」、「ABaC」、そして「ディスフルタール」……。独創的な料理で世界に名を轟かせる三つ星レストランも多い。圧倒的なクリエイションに注力する一方、後世の料理書の原点とされる『セント・ソヴィの料理書』が1324年にカタルーニャで書かれたように、美食の伝統も重んじられてきた。世界中のフーディーたちは今、ガストロノミーの最新線を体感するためだけにカタルーニャを訪れる。



CATALONIA

カタルーニャが誘う ガストロノミーの新しい地平

スペイン・カタルーニャは、世界のフーディーたちにとって憧れの旅先だ。地中海に面した九州ほどの広さに、ミシュランガイドの星を獲得したレストランが数多ひしめく。多彩な歴史や複雑な風土を反映し、創意工夫に富んだ一皿が、非日常へと誘ってくれる。



カタルーニャ州

スペイン北東部に位置し、人口約750万人。州都はバルセロナ。スペイン語に加え、カタルーニャ語も公用語として使われる。スパークリングワイン、カバの産地としても知られる





Joan Roca

ジョアン・ロカ

ジョーナにあるホスピタリティマネジメント専門学校で学び、1986年、弟のジョセップ・ロカ氏と共に「エル・セジュール・デ・カン・ロカ」をオープン。2007年には末弟のジョルディ・ロカ氏も参加した。昨年、ジョーナ郊外にレストラン兼ラグジュアリーホテル「エスベリット・ロカ」を開いた。国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の親善大使なども務めている。

Joan Roca

カタルーニャの重鎮が描くガストロノミーの未来

5月下旬、カタルーニャ州政府観光局が日本で開催したガストロノミーに関するイベントに合わせ、同州北東部のジョーナで「エル・セジュール・デ・カン・ロカ」を営むジョアン・ロカ氏が来日した。ミシュランガイドで2009年から三つ星を保持し、「世界のベストレストラン50」の1位にも2度輝いているオートクイジヌの重鎮。近年はサステナブルなレストラン経営にも心を砕いているという。

「エル・セジュール・デ・カン・ロカ」は、両親の営むレストランの隣に長男のジョアン・ロカ氏と次男のジョセップ・ロカ氏が1986年に開いた。2007年には三男のジョルディ・ロカ氏も加わり、100メートルほど離れた場所に、新装開店。

長男がシェフと経営、次男がソムリエ、そして三男がパティシエとデザートをそれぞれ担当。「ジョセップはロマンティックな性格。ジョルディは突拍子もないクリエイティブティの持ち主。そして私が長男として全体を調和させる役割を担い、トライアングルをより強固なものにし

ています」とロカ氏は話す。

兄弟の絆がレストランのエッセンス——。それを象徴するように食卓には3個の石が置かれ、至る所に家族の記憶や兄弟の思い出が刻印されている。写真で見ると、インテリアはミニマルで洗練され、一分の隙もないようだが、どこか家族経営の食堂を思わせる親しみやすさや懐かしさを感じさせる。

そんな彼ならではの料理に5月26日、ザ・リッツ・カールトン東京で開かれたディナー(カタルーニャ州政府観光局主催)で出会うことができた。「ラクティックデザート: 羊乳、アイス、カラメル、チーズ、グアバ」はその一つ。「リポリェサ」というカタルーニャ在来羊のミルクを使い、子供の頃見た羊の群れの記憶がテーマになっているという。

しかし、プライベートな記憶を、料理でどう表現するのか? 何と羊毛の香りを蒸留して、円錐形の紙に移し、それを感じながらデザートを食べるという凝った趣向。「子供時代にタイムスリップするような感覚を意図しています」と教えてくれた。

あるいは「シュショ」というジョーナの伝統的なロールパイ。一見、クラシックなデザートと思わせるが、クリーム代わりにピカードや古酒、野菜を使ったカモの煮込みが入っていて、甘味と塩味が絶妙に融合した逸品に仕上がっていた。奇をてらっているわけではないのに、食べ手の予想を心地よく裏切るさりげない発想に感心した。フェラン・アドリアが分子ガストロノミーを引っ提げて登場して以来約30年間、カタルーニャは美食の趨勢に大きな影響を与えてきた。ロカ氏もそれに伴走。一方で伝統を見つめ直し、低温での真空調理法など最先端の技術と融合させた。その創作を、ダリを引き合いに「伝統的な料理とシュルレアリスムの筆致の融合」と例えた批評家もいた。

昨年はジョーナ郊外のサン・ジュリア・デ・ラ・ミス城にレストランと巨大なワインセラーを備えたレストラン兼ラグジュアリーホテル「エスベリット・ロカ」も開業。「エル・セジュール・デ・カン・ロカ」が来年開業40周年を迎えるのを前に、これまでの歴史を振り返るプロジェクトだという。

創作同様、ガストロノミーのサステナブルなあり方にも関心が強い。東京でのガラディナー後、大阪・関西万博のスペイン館で行われたカルメルスカイエーダ氏と



の対談では「料理とは環境への敬意を示す一つの方法」と強調。そのために、リサイクル工房を自前で設けてボトルを再利用してグラスを作ったり、プラスチックをエプロンに変えたりする作業場もあるという。

「料理とは何より社会変革のツールであり、公正で持続可能な世界を築くためのツールであることを忘れてはなりません。料理とはそのための世界共通語でもあるのです。これからのガストロノミーにはその要素がさらに求められていくと信じています」



「エル・セジュール・デ・カン・ロカ」は1986年に、ジョアン・ロカ氏が弟のジョセップ・ロカ氏と開業。その後、末弟のジョルディ・ロカ氏も加わった。ミシュランガイドの三つ星を2度獲得し、「世界のベストレストラン50」の1位にも2度輝いたことがある。近年はレストラン経営のサステナビリティにも気を配る



©Carlos Allende

Carme Ruscalleda

最先端と伝統を絶妙に融合させた一皿に心砕く

バルセロナから北へ約60キロ離れたサン・ポール・デ・マールに1988年、「サン・パウ」を開いたカルメルスカイエーダ氏は、カタルーニャを代表するシェフの一人だ。ミシュランガイドで計七つの星を獲得し、スペインで三つ星を得た初めての女性シェフとしても知られる。

「サン・パウ」がミシュランガイドの星を獲得したのは1990年。星の数を順調に増やし、2006年には三つ星を与えられ、世界各地から美食家が訪れるトップクラスのレストランに。2004年には東京に進出し、19年間「サン・パウ東京」を営んだ。現在は旧西の「サン・パウ」を閉め、2009年、バルセロナに開業したホテル「マンダリン・オリエンタル」内に長男のラウル・バラムさんと「MOメント」を開き、ミシュランガイドの二つ星を獲得している。

「サン・パウ東京」が東京・日本橋にオープンした当初、来日した彼女が厨房で腕をふるうレストランで体験した洗練された味わいに、「カタルーニャ」と聞いて連想する外連味たっぶりの分子ガストロノミーとはひと味違う、カタルーニャの伝統料理の奥深さを感じた。2019年にレストランが東京・平河町のザ・キタノホテル東京に移転してからも何度か訪れたが、その思いは変わらなかった。



©Carlos Allende

Carme Ruscalleda

カルメルスカイエーダ

サン・ポール・デ・マールで農家と商人の家庭に生まれる。夫の支援を受け、デリカテッセンを営み、1988年に「サン・パウ」を開店。2004年には東京に「サン・パウ東京」を開き、2023年9月まで営業。現在はバルセロナのホテル「マンダリン・オリエンタル」内に長男とともに「MOメント」をオープン。三つのレストランで獲得したミシュランガイドの星は計七つにもなる。

そのことを告げると、「私は新しいものに高揚し、古いものに恋をします。奇抜さを強調するのではなく、素材の持ち味を素直に表現するよう心がけてきました」と応えてくれた。彼女自身、料理人出身ではなく、ベテランの主婦としての感性を大切にしながら総菜づくりから始めたという経歴も創作に影響しているのかもしれない。そんな彼女に、カタルーニャ料理とは何かと尋ねると、東側に地中海が広がり、北側にピレネー山脈が連なっていて、海産物から家禽、キノコまで様々な食材に恵まれていることだという。また、ギリシャ人、ローマ人、そしてアラブ人の文化の影響を受けてきたカタルーニャならではの歴史的背景も、複雑な味わいをもたらしているという。「だから、私の料理では海の幸と山の幸を一緒に使ったり、甘味と塩味、そして冷たい素材と温かい素材を組み合わせたりもします」

実際、カタルーニャ州政府観光局主催のイベントで5月下旬に来日した際に、彼女が振る舞った料理も、異なる素材や味わいを絶妙なバランス感覚で組み合わせた逸品だった。例えば、「カルキニョリス(アーモンドの焼き菓子)、フレッシュチーズ、カタルーニャ産アンチョビ、マタロ産ワイン」は塩辛いアンチョビと甘口ワインの

Chef Interview

二大シェフに聞く カタルーニャ料理の真髄



©Carlos Allende

マタロのコンビネーション。「アンコウと豚肉の団子-海と山-、ロメスコシチュー、ポテト」は漁師の作る料理を優雅にアレンジして、海の幸と山の幸を融合させた。

日本との関わりも深いことから、和食の影響も受けてきたという。フレッシュチーズににがりを使ったり、カタルーニャの伝統的なソースと出汁を組み合わせたりしているのはその一例。「日本で仕事をすることが私の調理技術や知識を大きく向上させてくれました。そして、今も私は日本から刺激を受け続けています」

最近「食育」にも力を入れているという。日本でも取り組みを知り、若い世代に食の大切さや自然との共生を伝えることがガストロノミーの最前線を走り続けてきた自身の使命と感じ、学校での講演や調理の実演などを積極的に行っているという。「1枚のパセリの葉にも命を感じ、全体を活かす姿勢を示したい。命をいただくという意識を持ち、自然との対話を意識することがますます大切になってきています。そのことを様々な実践を通して伝えていきたいと思っています」



〈右上・下〉独創性に溢れた唯一無二のひと皿。「エル・セジュール・デ・カン・ロカ」での食体験は、驚きと感動の連続



©Carlos Allende

〈右上〉ビクトリアルスタイルメニュー「メキシカンマジックリアリズム」エビ、グリーンモレ、葉と花
〈下〉自然と美食が織りなす多彩な色彩のメニュー「バイオレット」アネモネ、リーキ、紫ニンジン、ズッキーニ



marie claire open golf 2025 参加者募集!

第3回「marie claire」ゴルフコンペを開催

「marie claire」は、9月29日(月)に 第3回「marie claire open golf」を開催します。会場は、東京・稲城市の伝統ある会員制コース「よみうりゴルフ倶楽部」。当日は、18ホール全てを貸し切り。昨年に引き続き、ファッション関連のブースもあり、プレー以外の楽しみも満載。都内にありながら豊かな自然に包まれた名門ゴルフ場で、この日

だけはスコアを気にせず楽しめる、女性だけのイベントです。元プロテニス選手の杉山愛さんもスペシャルゲストとしてトークイベントに参加予定!

主催者、協賛各社より豪華賞品もご用意。お一人でもお友達同士でも、ご家族でも、ぜひお早めにエントリーください。



スペシャルゲスト
杉山愛さん



当日は「モルトンブラウン」によるハンド&アームマッサージ体験ブースのほか、協賛社などから豪華賞品も用意。「marie claire」のゴルフウェア(上記写真は参考)、その他ゴルフウェア、キャディーバッグやゴルフシューズ、ホテルの食事券なども

日程: 2025年9月29日(月)
6:40~17:00
場所: よみうりゴルフ倶楽部
東京都稲城市矢野口3376-1
tel: 044-966-1326(代表)

参加費: おひとり様 ¥28,500(税込み)
キャディー付きプレーフィ、パーティー費を含む。ゴルフ場利用税(¥1,200)別、昼食、その他飲食は別途。

※お申し込み後、当選者にメールでお知らせし、参加費を事前にWEBでクレジット決済にて申し受けます。警報発令等でゴルフ場自体が営業できない事態にならない限り、荒天決行です。入金後のキャンセルおよびご返金は承りかねます。ゴルフ場自体が運営できない場合はイベントを中止し、参加費は返金致します。

競技方法: 18ホールストロークプレー、プレー後に表彰式を開催、新ペリア方式により順位決定
優勝、ベストグロ賞、ニアピン賞、ドラコン賞等を予定。参加者全員にお渡しするプレゼントもご用意しています。

ドレスコード: ゴルフ場のドレスコードに準ずる
申し込み締め切り: 8月13日(水) 23:59

●募集詳細、エントリーはこちらから

右の二次元コードから応募フォームにアクセス。
必要事項をご記入のうえお申し込みください。
募集定員30組120名、エントリーはお早めに!



※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。応募締め切り後にメールの発送をもって当選・落選の発表とさせていただきます。
※本イベントのスケジュール・内容は都合により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※本イベント中、または本イベントの参加の行程で発生した事故、けが、疾病、所持品の紛失または破損などによる一切の損害について、主催者は主催者の責めにより発生した損害を除き、責任を負いかねます。
※イベント中に写真撮影を行い、雑誌「marie claire」、marie claire digital、Instagram、読売新聞関連のサイトなどに掲載する場合がございます。予めご了承ください。



主催 **marie claire**

会場 **よみうりゴルフ倶楽部**

協賛 **MOLTON BROWN**



marie claire sport パリのエッセンスを纏って 「マリ・クレール スポール」とグリーンへ

フランス発祥の女性誌『marie claire』のエスプリを体感できるスポーツウェアブランド「マリ・クレール スポール」。グリーンのみならず、タウンでも楽しめるゴルフウェアが人気を呼んでいる。日差しに負けない高機能性アイテムから、秋を先取りする最新作まで、今すぐチェックして。

photos: Kouki Marueki
hair & make-up: Jhun Takayama
model: Kiki (IMAGE MODELS TOKYO)
realization: Miyuki Kikuchi



グリーンでも街でも映えるニットコーデ

「marie claire」のロゴをリボンで描いたアートのようなプリントが印象的なスムーズニットのトップス&スカートは、ゴルフの行き帰りもそのままでサマになる。インナーがフリース素材になったレッグウォーマーを合わせれば寒さ対策も完璧に。セーター¥10,780 スカート¥9,790 レッグウォーマー¥4,950(すべてマリ・クレール スポール/ニッキー)



寒さに備えて中綿入りのアウター&パンツをスタンバイ
ホワイトジャケットとブラックパンツは、ともに中綿入りで寒さに負けない高機能を完備。ジャケットのインナーには汗ばまないよう通気性の良い薄手のロングシャツをINして、ラウンド中も疲れ知らずの5本指ソックスがプレイをサポート! ジャケット¥12,100 シャツ¥8,690 パンツ¥12,100 帽子¥5,390 ソックス¥990(すべてマリ・クレール スポール/ニッキー)



万能ワンピースのレイヤードでスタイリッシュに

一枚でさまざまな着こなせる万能アイテムのワンピースベスト。鮮やかなピンクのインナーとブラックのパンツを合わせてメリハリのある着こなしに。リップ&フリース素材を使用したキャップがキャッチーなバランス感を演出。ブルオーバー¥7,590 ワンピースベスト¥10,780 パンツ¥7,590 帽子¥5,390 ソックス¥990(すべてマリ・クレール スポール/ニッキー)



日差しが強い日もおしゃれにプレイをエンジョイ

羽織るだけでひんやりする接触冷感とツバ付きのフードでしっかりUVカットしてくれるパーカーは今すぐ手に入れたたいアイテム! ロゴやマークをあしらった半袖シャツ、サンバイザーを小粋なアクセントに。UVパーカー¥9,350 モノグラム柄半袖シャツ¥8,690 パンツ¥9,790 サンバイザー¥3,960 ソックス¥990(すべてマリ・クレール スポール/ニッキー)

ARTIZON MUSEUM

注目の女性作家の作品が集結
豊かな表現力に魅了されるアボリジナル・アートの「いま」

昨今、オーストラリアのアートシーンを牽引し、国際的な現代美術の舞台でも存在感を強めている、オーストラリア先住民によるアボリジナル・アート。2024年に開催された第60回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展では、アボリジナル作家の個展を展示したオーストラリア館が、国別参加部門の金獅子賞を受賞するなど、世界的にも評価が高まっている。中でも注目なのがアボリジナルをルーツに持つ女性作家たち。人類最古のアートを継



イワニ・スケース《えぐられた大地》2017年、ウランガラス（宙吹き）、石橋財団アーティゾン美術館
©Courtesy the Artist and THIS IS NO FANTASY

承し、現代に昇華させる、彼女たちの多様な芸術表現に注目が集まっている。
今回、日本で初となる複数のアボリジナル女性作家による展覧会では、所蔵作家4名を含む、オーストラリア各地で躍動する、世代を超えた7名と1組による計52作品を紹介。作品のテーマは、過去の歴史から社会、環境問題、失われた文化の復興など幅広く、制作手法や用いられる素材も多種多様。女性作家に焦点をあてることで、見えてくる独特の世界観。脈々と流れる伝統文化の息づかいを感じる作品との出会いを、ぜひ体験してみてください。

「彼女たちのアボリジナル・アート
オーストラリア現代美術」展

会期：2025年9月21日（日）まで
開館時間：10:00～18:00
（毎週金曜日は20:00まで）入館は開館の30分前まで
閉館日：月曜日（8月11日、9月15日は開館）、8月12日、9月16日
会場：アーティゾン美術館6・5階展示室
主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館
後援：オーストラリア大使館
入館料：日時指定予約制 ウェブ予約チケット ¥1,800、
窓口販売チケット¥2,000、学生無料（要ウェブ予約）
※予約枠に空きがあれば、美術館窓口でもチケットを購入いただけます。
※中学生以下の方はウェブ予約不要です。
※この料金で同時開催の展覧会「石橋財団コレクション コレクション・ハイライト」もご覧いただけます。

お問い合わせ先：アーティゾン美術館 050-5541-8600 www.artizon.museum



マリィ・クラーク《私を見つけたね、目に見えないものが見える時》（部分）
2023年、顕微鏡写真・アセート、作家蔵（ヴィヴィアン・アンダーソン・ギャラリー）
Installation view of *Between Waves*, Australian Centre for Contemporary Art, Melbourne, Photo: courtesy Andrew Curtis ©Marie Clarke

ジュリー・ゴフ《ダーク・バレー、ヴァン・ディーメンズ・ランド》2008年、フィンガル・バレー（タスマニア）産石炭、ナイロン、北ミッドランド（タスマニア）の落角、タスマニア・オーク、ニューサウスウェールズ州立美術館
©Julie Gough, Image ©Art Gallery of New South Wales

GRAND SEIKO

コンパクトなケースに秘めた
異次元の高精度
「グランドセイコー」の最新作
「スプリングドライブ U.F.A.」



時計の本質的な美しさと機能を追求し、その哲学を形にした「グランドセイコー」を代表するコレクションのひとつ「エボリューション9 コレクション」。その最新作として今年登場したのが、年差±20秒という高い精度を誇るスプリングドライブ・ムーブメント「キャリバー9RB2」を搭載したモデル「スプリングドライブ U.F.A. (Ultra Fine Accuracy)」。水晶振動子を新設計のICとともに真空封入し、温度や湿度、静電気、光などの影響を最小限に抑えることで、この高精度を実現させた。また、ムーブメントの小型化と薄型化により、ケース径はわずか37mm。キャリバー9R搭載モデルで最もコンパクトなサイズとなり、男女問わず着用を楽しめそうだ。

そして、もう一つの大きな特徴が、ダイヤルのデザイン。シルバーがかった淡いブルーをベースに、製造の拠点である「信州 時の匠工房」の東に位置する諏訪・霧ヶ峰の樹木から着想を得た型打ち模様が施され、光の変化によって繊細な煌めきを放つ。静けさの中の凛とした美しさが印象的

だ。プレスレットには軽くて明るい輝きを放つ「グランドセイコー」独自の素材「ブライトチタン」を採用。2mm単位で3段階の微調整が可能な新しい中留を取り入れたことで、しなやかな着け心地と、確かなホールド感も叶えている。「審美性」「視認性」「装着性」のすべてを備え、洗練さを極めたこの一本をぜひ手に入れて。



ムーブメントの表面には、厳寒期の信州で見られる霧水に着想を得て、霧が凍結したかのような仕上げを施すなど、細部にもこだわりが宿る。"エボリューション9 コレクション スプリングドライブ U.F.A. モデル SLGB003" [ブライトチタン、ケース径37mm、自動巻] ¥1,518,000 (グランドセイコー／セイコーウオッチ お客様相談室)



次号予告

marie claire
28th August, 2025

8月28日刊行です

shop list

掲載商品のお問い合わせ先

アーペーペー カスタマーサービス tel: 0120-500-990
ヴァレンティノ インフォメーションデスク tel: 03-6384-3512
SK-II お客様相談室 tel: 0120-021325
MIMC tel: 03-6455-5165
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
オメガ tel: 0570-000087

グッチ クライアントサービス tel: 0120-99-2177
カ クラリス カスタマーケア tel: 050-3198-9361
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947

クロエ カスタマーレソリューションズ tel: 03-4226-3883
コール ハーネ ジャパン tel: 0120-56-0979
サ SHISEIDO お客様窓口 tel: 0120-587-289
ジバンシィ ジャパン tel: 0120-218-025
シロク tel: 0120-150-508
セイコーウオッチ お客様相談室 tel: 0120-302-617
セリーヌ ジャパン tel: 03-5414-1401
タカミ お客様相談室 tel: 0120-291-714
トリー バーチ ジャパン tel: 0120-705-710

ドルチェ&ガッバーナ ジャパン tel: 03-6833-6099
BAUM お客様窓口 tel: 0120-332-133
ハ バレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
フエンディ ジャパン tel: 0120-001-829
富士フィルム tel: 0120-596-221
プラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913
ブルネロ クチネリ ジャパン tel: 03-5276-8300
ポッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966
ポーラ お客様相談室 tel: 0120-117111

マ マックスマラ ジャパン tel: 0120-992-297
マックスマラ ジャパン tel: 0120-030-535
ミュウミュウ クライアントサービス tel: 0120-45-1993
ヤマニ tel: 03-5806-8055
ラ ラコステお客様センター tel: 0120-37-0202
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116



marieclairejapon.com

Welcome to Our Site!

1898年にドイツで創業し、高品質なスーツケースで知られる世界的なラグージブランド「リモワ」。その原点ともいえる存在が、「リモワ」を象徴する〝Original（オリジナル）〟コレクションだ。航空機にも使われるほど頑丈な素材として知られるアルミニウムを採用し、比類なき耐久性とミニマルな美しさを兼ね備えている。

今回、この〝Original〟コレクションに新たに加わったのが、シーズン限定カラー「ブロンズ」。古来、彫刻や工芸品、硬貨などに用いられてきたブロンズという素材が持つ重厚感と上質さに着想を得て生まれたこのカラーは、温もりあるブラウンを基調に、ゴールド、オレンジ、レッドのニュアンスが繊細に重なり合う。深く豊かな発色は、アルミニウムの表面に直接顔

料を染み込ませる独自のアルマイト加工技術によって表現されている。既に経年変化を経てきたような風格を感じさせる色合いだが、実際に旅を重ねるにつれて風合いを深め、使い手の個性を反映する「たった一つのアイテム」へと姿を変えるという。

また、無段階調整可能なテレスコープハンドル、滑らかな操作性を実現するマルチホイール®システム、TSA承認ロック、自在な収納を叶えるフレックスディバイダーなど、「リモワ」ならではの機能性も既存コレクション同様に搭載されている。

時とともに味わいが深まる唯一無二の美しさと実用性の融合を叶えた「ブロンズ」は、旅の真価を知る者にこそふさわしい、新たな選択肢といえそうだ。



細部にわたるまで統一された美しいブロンズカラーは、「リモワ」の卓越したクラフトマンシップによって生み出されたもの



〝Original〟コレクションのシーズン限定カラー「ブロンズ」は、3～4日程度の旅行に最適なサイズから、長期の旅行にも対応できる大容量のサイズまで、3サイズで登場。〈左から〉〝Original キャビン〉[W40×H55×D23cm、35L] ¥224,400 〝Original トランクプラス〉[W44×H80×D36.5cm、106L] ¥365,200 〝Original チェックインL〉[W51×H79×D27.5cm、86L] ¥281,600（すべてリモワ／リモワ クライアントサービス）

RIMOWA 「リモワ」のアイコン 〝Original〟コレクションに限定色 ブロンズが誘う 大人の旅支度

旅のアイコンとして愛され続ける「リモワ」の〝Original〟コレクションに、シーズン限定カラー「ブロンズ」が登場。深みと温もりを湛え、洗練された存在感を放つ新たなカラーに注目。

photos: © RIMOWA

新色コレクションを主役にした
ユニークなショートムービーは必見！

今回の新色コレクションの発表に際し、アートオークションをテーマにしたショートムービーが公開。オークション会場を舞台に、新色のスーツケースがまるで古代の彫像のように丁寧に取り扱いられ、多数の入札者が白熱した競り合いを展開する。このユニークなショートムービーで、「ブロンズ」の魅力をぜひチェックして。

